

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和4年度事業点検・評価調書

5-II-5

5-II-5

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	地場産業の活性化
節	II. 伝統文化・地場産業の振興		
事業(施策)名	5 佐渡産ブランド品開発	事業主体	佐渡連合商工会
事業実施期間	H28～R6	関連団体	佐渡市産業振興課
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 特産品の開発等により、佐渡産ブランドの価値の向上を図る。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 特産品の開発や既存商品のブラッシュアップに向けて、関係機関が連携して佐渡金銀山ブランドイメージを活用した戦略的な検討を進める。 <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 佐渡金銀山のブランドイメージを活用しながら、新たな特産品の開発や既存商品のブラッシュアップを行い、販売促進ツールの拡大と併せ、更なる佐渡産品のブランド化を図る。 		
これまでの取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニッポン全国物産展(池袋サンシャインシティ)に出展し、地域資源の販路拡大の取り組みを行った。 ○ 首都圏佐渡物産展(日本橋ブリッジにいがた、表参道新潟館ネスパス)の定期開催をはじめフードinにいがた(朱鷺メッセ)に出展し、商談会の開催や販路拡大等の支援事業を実施した。 ○ 商品開発セミナーや販路開拓バイヤーセミナーを開催した。また、自社商品売上向上セミナーやサービスのブラッシュアップ専門家派遣セミナーを開催し、ブランド化に向けた商品開発のノウハウを学んだ。 ○ 新たな事業者支援計画(経産省認定R2.3)により、佐渡圏域を一元化した事業者支援体制を推進し、島外への販路及び需要開拓を促進するなど、戦略的な販路開拓事業の支援体制を確立した。 ○ 関係機関と連携し、佐渡ブランディング・商品開発セミナーに参加し、佐渡金銀山商品開発に取り組み、新たに15品目の商品開発と自社商品の関連付けと併せ、佐渡産ブランドのブラッシュアップに向けた経営戦略の取組を支援した。 		
事業計画と実績	<p>【R4年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● マーケティング力向上を目指し、売れる仕組みづくりやプレスリリース、SNS活用セミナーを開催 ● フードメッセinにいがたに出展し、県内商談会及び販路拡大のための支援を行う。 ● 関係機関と連携し、佐渡ブランディング・商品開発セミナーへの参加と世界遺産国内推薦機運醸成事業を実施し、自社商品の販売促進に向けた取り組みを支援する。 <p>【R4年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● マーケティング力向上を目指し、売れる仕組みづくりセミナー、プレスリリースセミナー、SNS活用セミナーと3回実施し、延べ37事業所が参加して自社商品の販売力向上に努めた。 ● フードメッセinにいがたに10事業者が出展・参加(11.8～10)し、44件の商談(見込み)を確約すると共に9,159名の来場者が直接商品に向き合い、バイヤー交渉ができ、販路拡大につながった。また、道の駅たがみにおいて、世界遺産に向けた佐渡フェアと4事業所による佐渡物産展を開催し、販路拡大につなげた。 ● 関係機関との連携により、世界遺産関連商品開発と世界遺産国内推薦の機運醸成事業としてスタンブラリーを実施すべく準備したが、推薦書提出が先送りになったことから、事業を次年度に繰り越した。 		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 佐渡金銀山ブランドイメージの確立に向けた商品開発とその関連付けが必要であり、関係機関との連携による商品開発と情報発信に取り組むなど積極的に関係機関との連携強化を図る必要がある。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 令和5年度は、新たな世界遺産関連商品開発と世界遺産登録に向けた機運醸成事業を実施すると共に令和6年度末に向け、これまで以上に各商工会間の情報共有と関係機関との連携を密にして、既存商品の佐渡産ブランドのブラッシュアップを5品目と佐渡金銀山商品開発品目を新たに20品目追加を目指し、ブランドイメージを活用しながら具体的な佐渡産品の開発と更なるブランド化を目指す。 		
事業評価	<p>【ゴールに対するR4末の達成度】 ◇ 本事業は、佐渡産ブランド品開発と既存商品のブラッシュアップに向けた検討を重ねていくものであり、関係機関との連携により佐渡ブランディング・商品開発セミナーを企画・参加し、情報共有を図った。令和4年度は新たな商品開発はできなかったが、自社商品との関連付けや商談会の実施と併せ、道の駅での佐渡フェアの開催など、ブランドイメージの確立に向けた取り組みができ、概ね計画どおり達成できたとして、B評価とした。</p> <p>[A・(B)・C]</p>		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。